

20230623 研究成果報告会リハ③

コロナ禍影響調査から見えてきた 市民生活と市民活動 ～「市民活動」の次のステージ～

公益財団法人 豊田都市交通研究所
主任研究員 高桑 俊康

コロナ禍影響調査から見てきた市民生活と市民活動 ～「市民活動」は次のステージへ～

～ 報告目次 ～

スクリーンに注目！

1. 本調査の目的
2. 使用する「用語」について
3. コロナ禍の市民「生活行動」への影響
4. 同 「市民活動(テーマ型NPO)」の変化
5. 同 「市民活動(ボランティア団体)」の変化
6. 調査によりわかった事
7. これまでの「市民活動・組織」支援
8. 市民活動が次のステージへ向かう為には

1. 本調査の目的

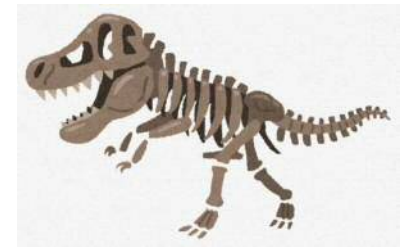
コロナ禍による「変化」を見える化



新時代に適応する「市民活動」のめざす姿
必要な支援策を提案する。

仮説①市民活動により補完されていた
生活支援に大きな影響が出た。

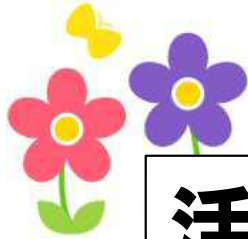
仮説②市民活動は、変化に
追従できない。(衰退?)



2. 「市民活動」とは？



市民活動：市民が行う、営利を目的とせず、
自主的に行う公益的な活動



活動の原点：足りない！→「補う」行動

豊田市内
等広域

テーマ型
NPO

ボランティア
団体

地域
密着

※「自治会」主催活動は
本報告の対象外



※本報告共通の定義・表現

時期)

コロナ禍前:

～2018/末

コロナ禍中:

2020～2021

コロナ禍後:

2022/初～

変化)



大きな「増加」

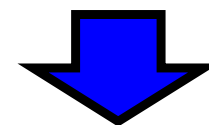


小さな「増加」

(矢印なし) 軽微な変化



小さな「減少」



大きな「減少」

※年度の場合は前後あり

3. コロナ禍の市民「生活行動」への影響



アンケート概要

対象：15歳以上

(株)マクロミル登録モニター&R3調査回答者

豊田市 278人 / 愛知県中核5市 1,089人

実施時期：2022年10月19日～10月24日

調査項目：

個人属性(性別、年齢、家族形態他)

活動状況(活動時間、外出頻度、在宅勤務頻度他)

心身の状態

住まい方

感染リスクへの意識 他

3. コロナ禍の市民「生活行動」への影響

市民

コロナ禍前
(2019/12)



コロナ禍中
(2021/10)分

コロナ禍中
(2021/10)



コロナ禍後
(2022/10)分

増やした生活行動	差
18) 交際・つきあい	+ 11
10) 買い物	+ 4
17) ボランティア活動	+ 2
05) 仕事	+ 2

増やした生活行動	差
05) 仕事	+ 4
15) 趣味・娯楽	+ 3
09) 育児	+ 2

「コロナ禍」への「対処」

「三密」回避



「意識」した変化

新しい生活スタイル
(ニュー・ノーマル)



3. コロナ禍の市民「生活行動」への影響

市民

コロナ禍前
(2019/12)



コロナ禍中
(2021/10)分

コロナ禍中
(2021/10)



コロナ禍後
(2022/10)分

増やした生活行動	差
18) 交際・つきあい	+ 11
10) 買い物	+ 4
17) ボランティア活動	+ 2
05) 仕事	+ 2

増やした生活行動	差
05) 仕事	+ 4
15) 趣味・娯楽	+ 3
09) 育児	+ 2



自分の為
濃厚な接触
有益な時間

他人の為の
ボランティア

自分の為の
より有益な時間

3. コロナ禍の市民「生活行動」への影響

市民

コロナ禍前
(2019/12)



コロナ禍中
(2021/10)分

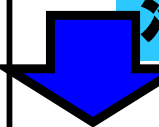
コロナ禍中
(2021/10)



コロナ禍後
(2022/10)分

減らした生活行動	差
14) 学習・自己啓発	- 3
09) 育児	- 5
15) 趣味・娯楽	- 7
03) 食事	- 7
02) 身の回りの用事	- 7
01) 睡眠	- 10
13) 休養・くつろぎ	- 14
07) 家事	- 14
12) テレビ・ラジオ	- 19

減らした生活行動	差
11) 移動 外に出ない?	3
10) 買い物	- 3
14) 学習・自己啓発	- 4
19) 受診・療 (卒業?)	5
06) 学業	- 5
13) 休養・くつろぎ	- 17
12) テレビ・ラジオ	- 26



ネガティブ)まだ
落ち着けない

ポジティブ)
時間の
有効活用

3. コロナ禍の市民「生活行動」への影響



活動時間/生活行動 ※関連分類を集約3区分

A. 家事 関連時間

- 07) 家事
- 08) 介護・看病
- 09) 育児
- 10) 買い物

B. 在宅型 余暇活動時間

- 12) テレビ・ラジオ
- 13) 休養・くつろぎ

C. 積極的 余暇活動時間

- 14) 学習・自己啓発 ※学業以外
- 15) 趣味・娯楽
- 16) スポーツ
- 17) ボランティア活動

3. コロナ禍の市民「生活行動」への影響

市民



活動時間 ※3区分



A. 家事 関連時間 -18分		-15	↓	-3	↓
	07)家事	-14		-2	
	08)介護・看病	± 0		± 0	
	09)育児	-5		+2	
	10)買い物	+4		-3	
B. 在宅型 余暇活動時間 -1h16分		-33	↓	-43	↓
	12)テレビ・ラジオ	-19		-26	
	13)休養・くつろぎ	-14		-17	
C. 積極的 余暇活動時間 -14分		-10	↓	-4	↓
	14)学習・自己啓発	-3		-4	
	15)趣味・娯楽	-7		+3	
	16)スポーツ	-2		-2	
	17)ボランティア活動	+2		-1	

3. コロナ禍の市民「生活行動」への影響



「生活行動」のキーワード

自分の為
濃厚な接触
有益な時間

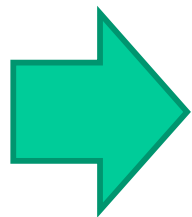
落ち着けない

外に出ない？

他人の為の
ボランティア

ソワソワ
集中できない
時間が
うまく使えない

ポジティブ)
時間の
有効活用

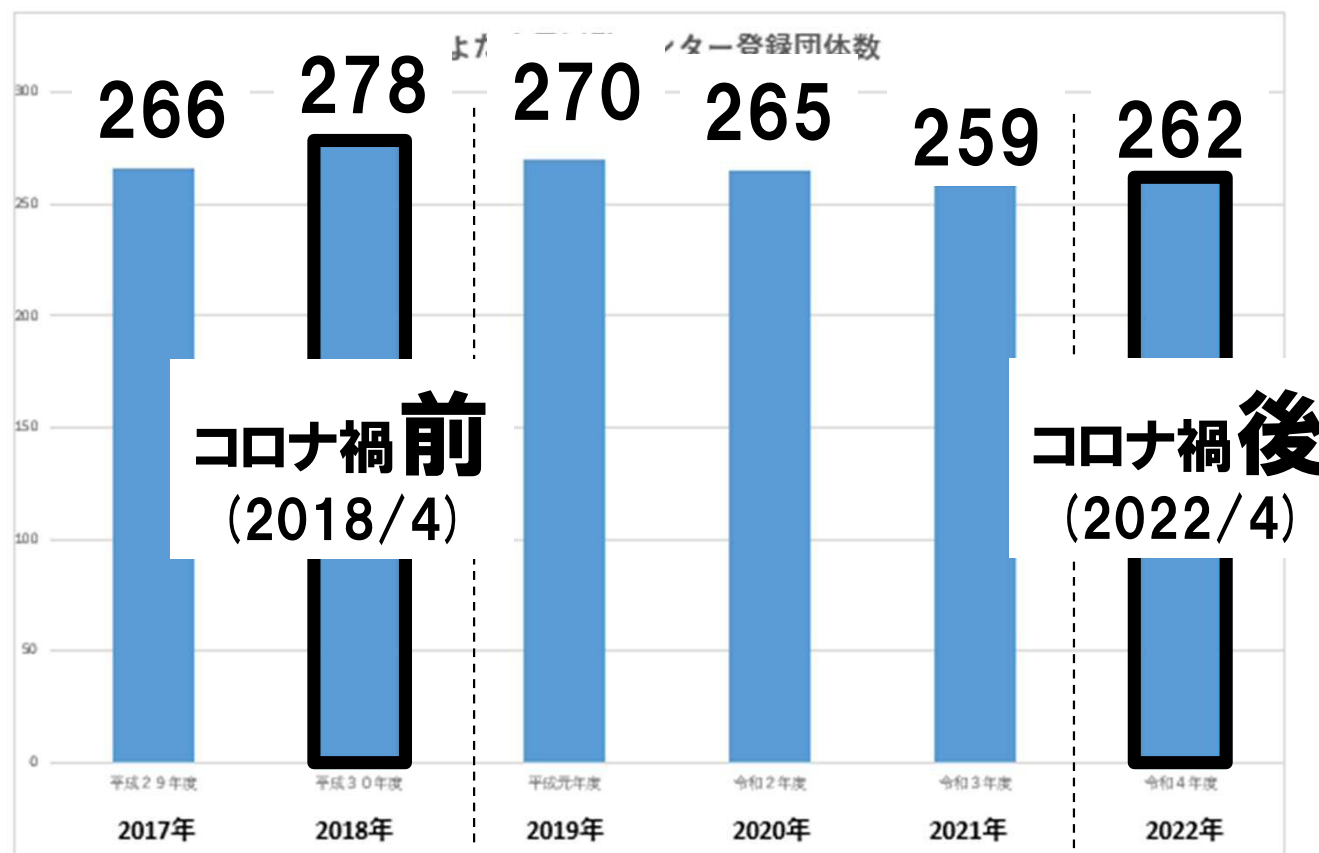


自分の為に、他人の為に
時間を有効に使いたい！

4. 「市民活動(テーマ型NPO)」の変化

テーマ型
NPO

とよた市民活動センター 年度別登録団体数変化



-16団体
94%



4. 「市民活動(テーマ型NPO)」の変化

テーマ型
NPO

コロナ禍前
(2018/4)



コロナ禍中
(2021/10)



コロナ禍後
(2022/4)

「三密」回避による「活動の場」の縮小

06)学術・文化・芸術 ・スポーツの振興	36	+	3	39	108%
10)人権の擁護 ・平和の推進				4	200%
12)男女共同参画	7	-	3	9	64%
03)まちづくり				23	85%
11)国際協力				9	64%
01)保険・医療 ・福祉の増進	75	-	9	66	88%

「個人」活動
⇒「組織」活動

活動機会の縮小？

4. 「市民活動(テーマ型NPO)」の変化

テーマ型
NPO

「テーマ型NPO」のキーワード

「個人」活動⇒「組織」活動

モチベーション低下？
熱が冷めた？

活動機会の縮小？

➡ 新規組織)課題解決には組織化が必要！
既存組織)活動疲れ？先行き不透明？

5. 「市民活動(ボランティア団体)」の変化

ボランティア
団体

アンケート概要

対象：豊田市社会福祉協議会主催の
市民活動団体地域懇談会会場にて配布

回答数 17団体

実施時期：2022年9月1日～10月31日

調査項目：

団体属性(代表者名、活動地域、活動分野他)

活動状況(コロナ禍前/中/2022/将来)

- ・事業毎の実施回数、参加者数

- ・会員、メンバー等の人数

活動を続けるうえでの不安 他

5. 「市民活動(ボランティア団体)」の変化

ボランティア
団体

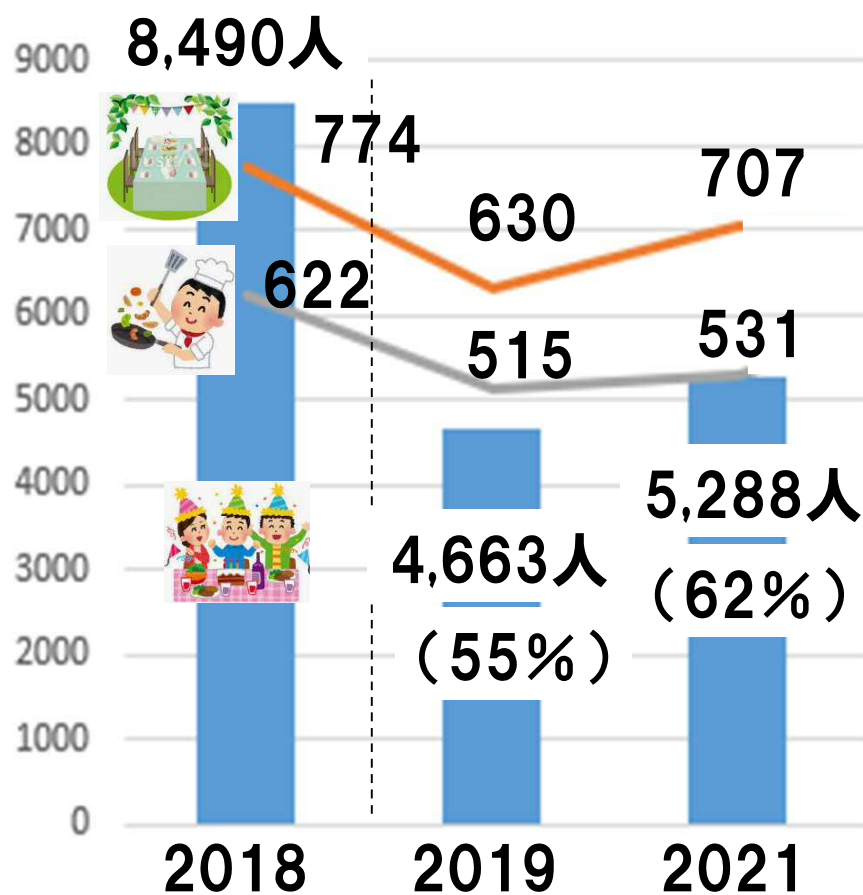
コロナ禍前
(2018/4)



コロナ禍中
(2021/4)



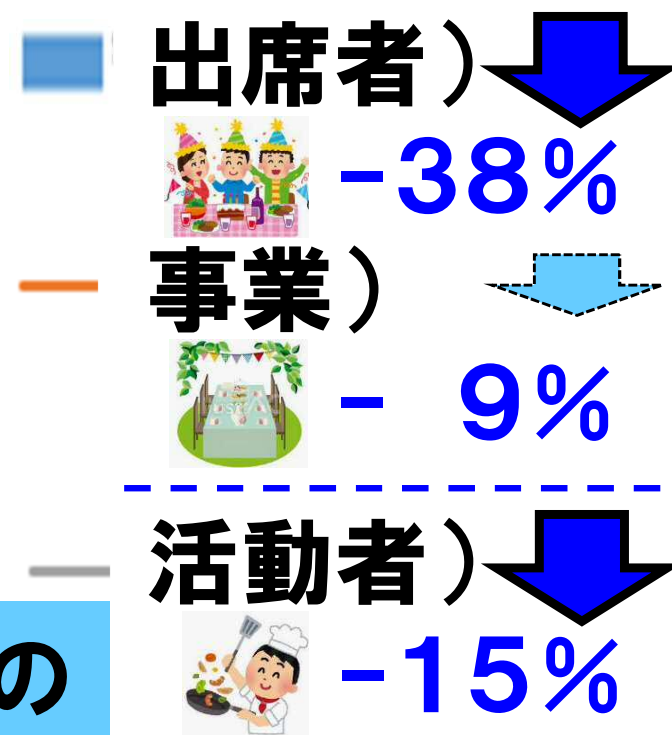
コロナ禍後
(2023以降)



4割近い
機能低下

1割以上の
活動者離脱

2021年



出席者数 事業数 活動者数

5. 「市民活動(ボランティア団体)」の変化

ボランティア
団体

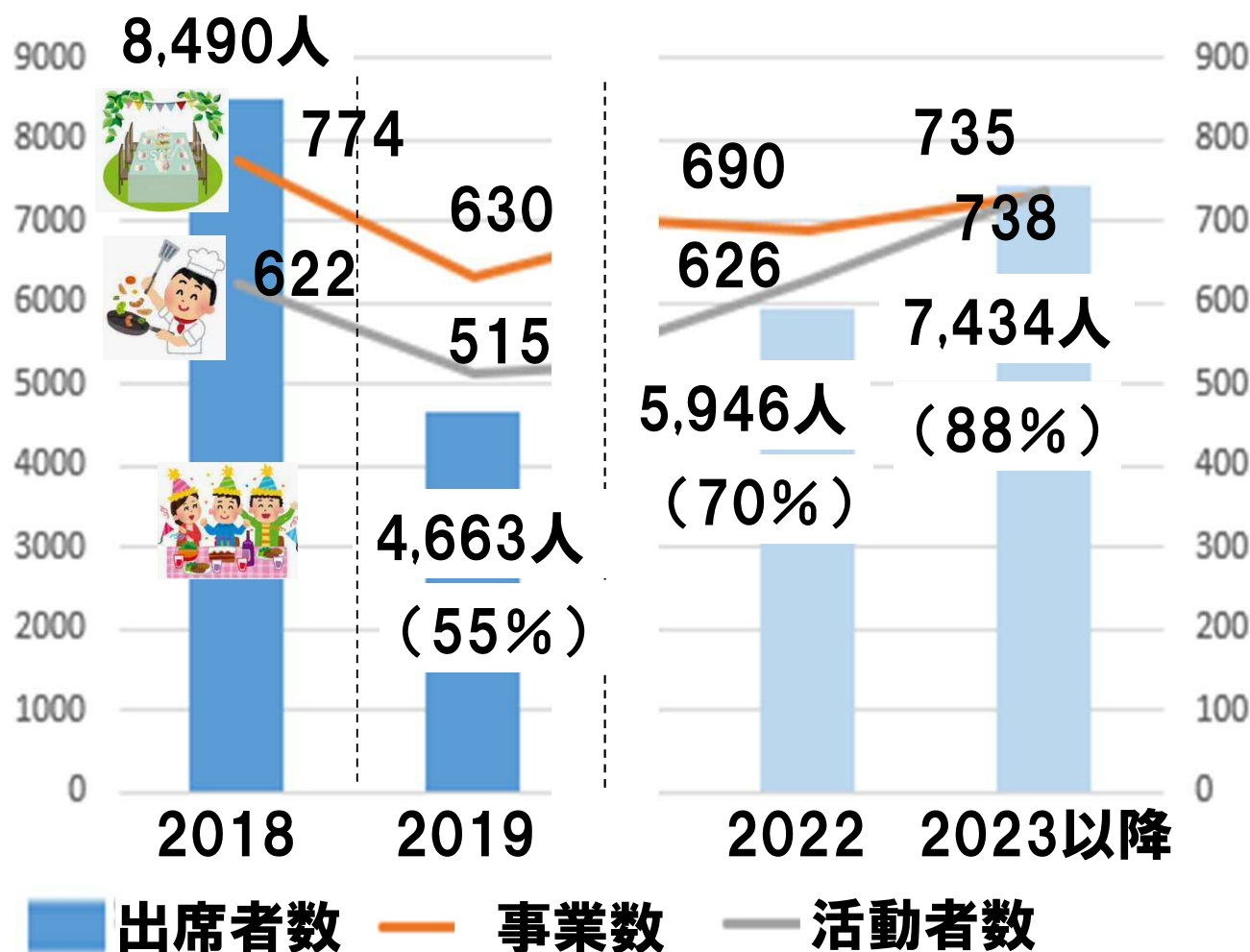
コロナ禍前
(2019/12)



コロナ禍中
(2021/10)



コロナ禍後
(2023以降)



守り?

出席者) ↓

-12%

事業)

- 5%

活動者) ↑

+19%

メンバーが
足りない!!

5. 「市民活動(ボランティア団体)」の変化

ボランティア
団体

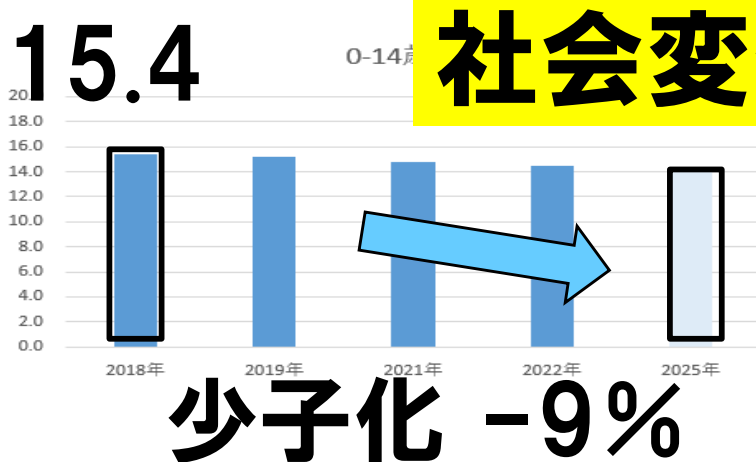
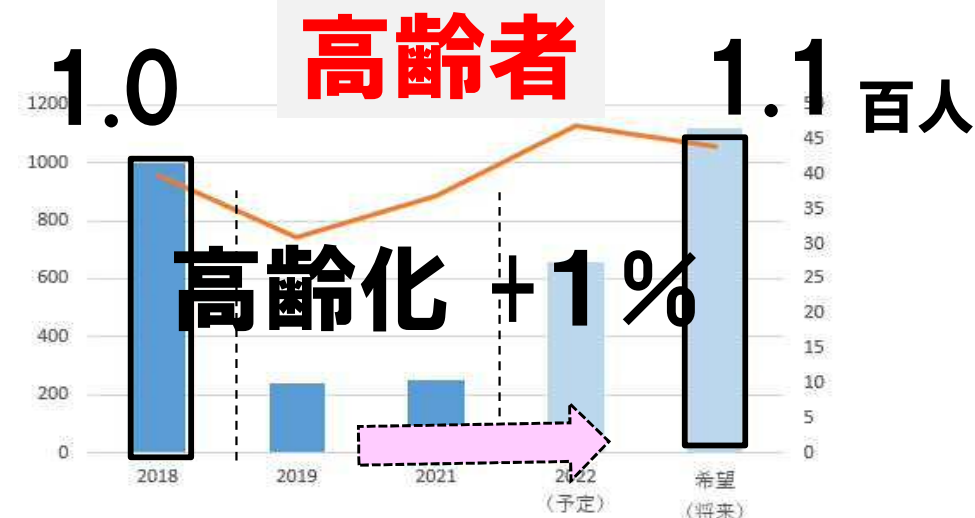
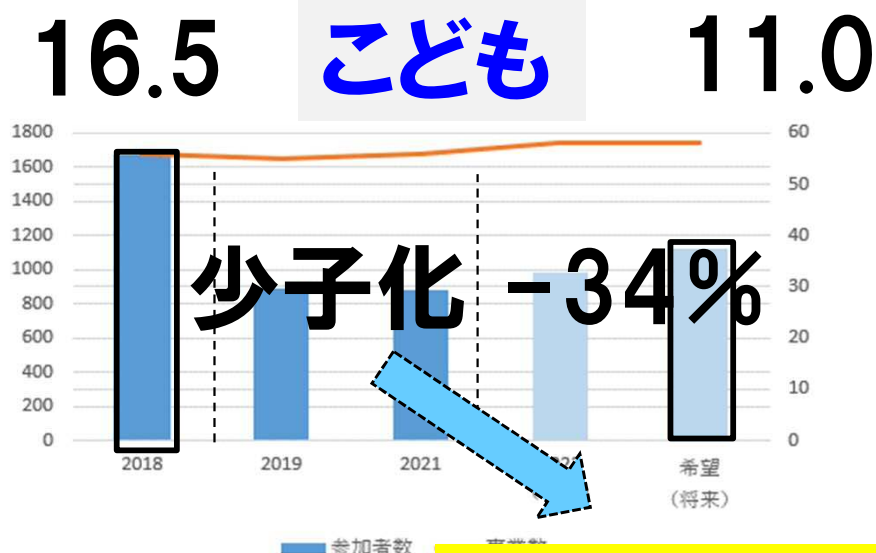
		活動分野															
		福祉				地域				その他							
		子どもの健全育成	高齢者支援	子育て支援	障がい者支援	環境保全	地域安全	防災・災害支援	まちづくり	男女共同参画	行事等	文化・芸術	市民活動支援	相談・交流	国際協力	その他	その他
グループ	No	7	6	4	2	6	6	6	5	2	2	1	1	1	1	1	2
A 子ども	003	4							まちづくり		行事等	文化・芸術					
	008	2							まちづくり								
	016	1															
	012		高齢者			環境保全		防災・	まちづくり								
記号	グループ名	主な活動内容		対象数													
A	子ども	子どもの健全育成		3													
B	高齢者	高齢者の生活支援		3													
C	子ども・高齢者	子どもの健全育成 高齢者の生活支援		2													
D	子育て	子育て世帯の生活支援		3													
E	+障がい者	上記A～Dプラス 障がい者世帯の生活支援		2													
F	その他	上記A～E以外 防災、ウォーキング等		4													
F その他	009	5				環境保全	地域安全	防災・災害支援	まちづくり								
	015	1						防災・災害支援									
	007	1															

17団体をグループ分け

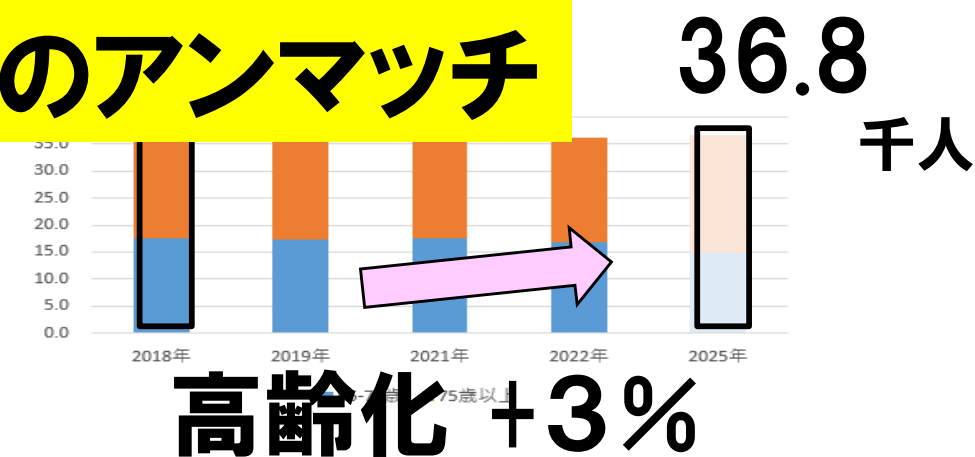
A. 子ども支援
B. 高齢者支援
C. 子供＋高齢者
D. 子育て
E. ＋障がい者
F. その他

5. 「市民活動(ボランティア団体)」の変化

ボランティア
団体



社会変化とのアンマッチ



～2022年



総務省統計局

2025年



国立社会保障・人口問題研究所
National Institute of Population and Social Security Research

5. 「市民活動(ボランティア団体)」の変化

ボランティア
団体

「ボランティア団体」の「不安」

【 組織 】

【 参加者 】

人材不足

会員が増えない

PR不足？

参加者が少ない

会員の減少

若い会員が少ない

会員の高齢化

活動への関心が低い

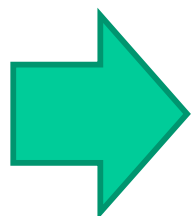
5. 「市民活動(ボランティア団体)」の変化

ボランティア
団体

「ボランティア団体」のキーワード

しんどい!!

メンバーが
全然足りない!!



事業を続けるのに、もっと人が欲しい！
だけど・・・続けるのもしんどい。

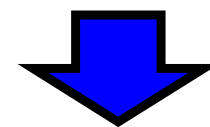
6. 調査によりわかった事

仮説①市民活動により補完されていた生活支援に大きな影響が出た。



最大で

-45%



大きな影響あり

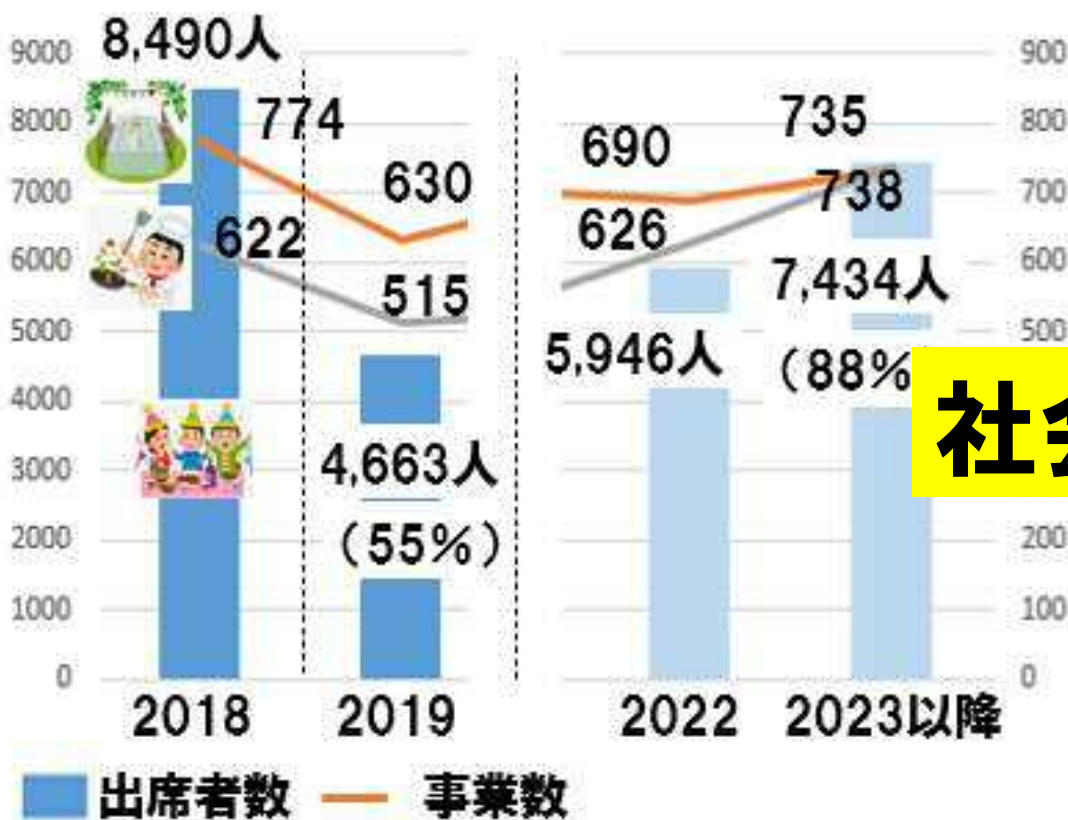
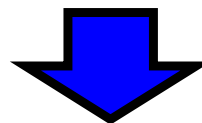


6. 調査によりわかった事

仮説②市民活動は、変化に
追従できない。(衰退?)



最大で -12%



社会変化とのアンマッチ



追従できない < ○ >

6. 調査によりわかった事

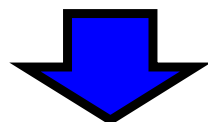
仮説①市民活動により補完されていた生活支援に大きな影響が出た。

仮説②市民活動は、変化に追従できない。(衰退?)



「出席者数」最大で

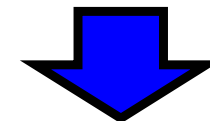
-45%



明らかに「コロナ禍」が
直接の影響原因

「出席者数」最大で

-12%



社会変化とのアンマッチ

コロナ禍「だけ」の影響？
間接的に衰退を速めた？

7. これまでの「市民活動・組織」支援

テーマ型
NPO

テーマ型NPO

2001(平成13)年
とよた市民活動センター開所

2007(平成19)年～
豊田市市民活動促進条例策定

2013(平成25)年～
豊田市市民活動促進計画策定
※第4期2年目

豊田市総合計画 第8次後期3年目



7. これまでの「市民活動・組織」支援

テーマ型
NPO

NPO/テーマ別



- ・広い層への、ロッカー等提供
- ・市民啓発
- ・とよた市民活動センターの手厚いソフト面の支援
- ・団体の各種相談対応
- ・各種事業支援

社会人プロボノ 手厚い資金面の支援

豊田市市民活動促進補助金

はじめの一步/立上期

活動ステップアップ/継続期

新規議場チャレンジ/発展期



7. これまでの「市民活動・組織」支援

ボランティア
団体

地域密着

ボランティア団体

手厚い
資金面の支援

わくわく事業(補助金)

補助金の交付対象者要件

- (1) 5人以上で組織された団体
- (2) 活動が地域の多数の住民に
支持されると認められる団体

地域住民等で
構成される審査会

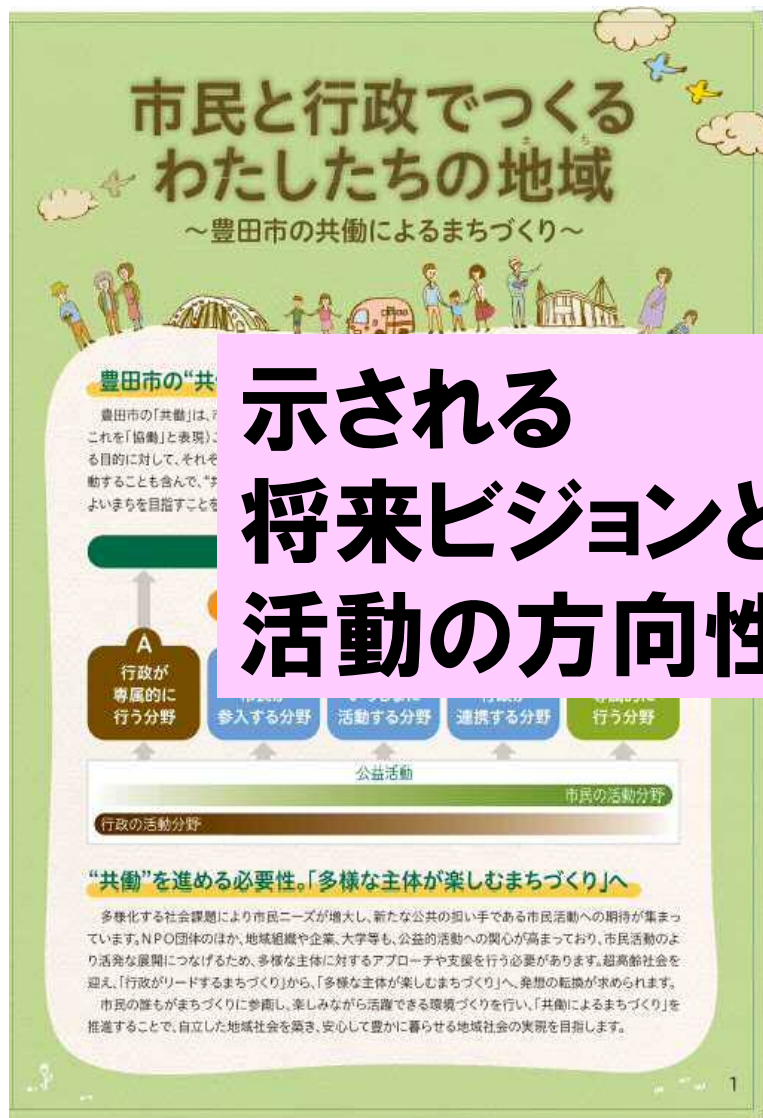


7. これまでの「市民活動・組織」支援

テーマ型

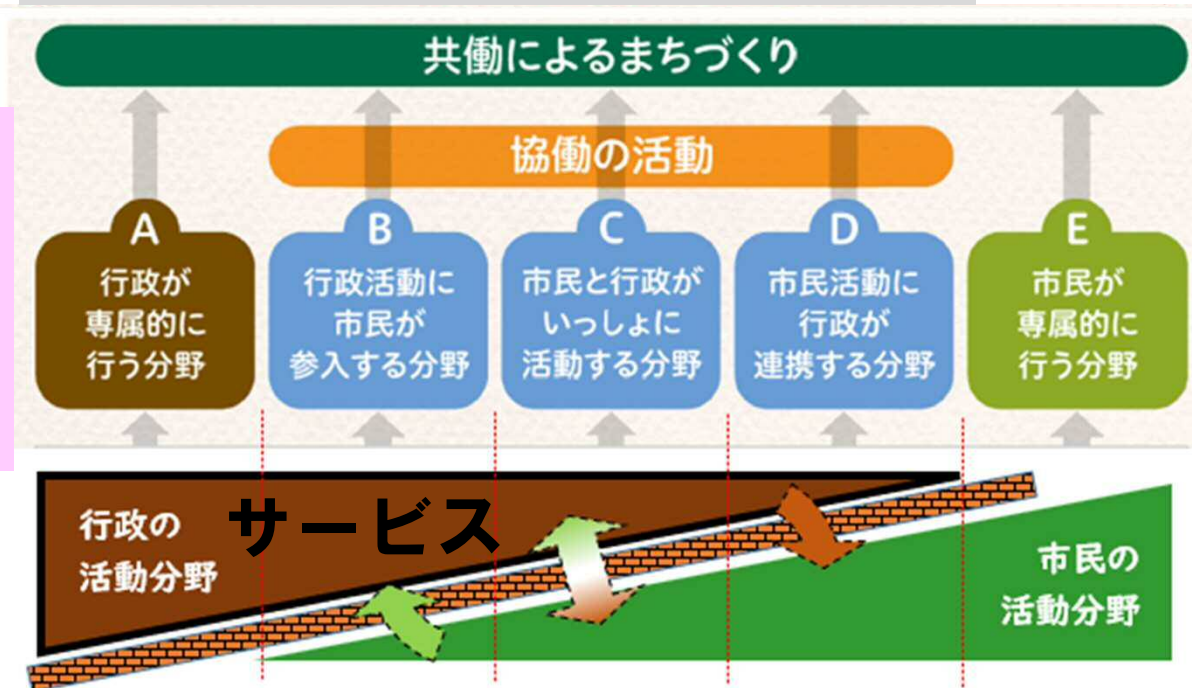
0

ボランティア
団体



示される
将来ビジョンと
活動の方向性

「共働」によるまちづくり



理念・イメージ



7. これまでの「市民活動・組織」支援

「支援」のキーワード

手厚い
ソフト面の支援

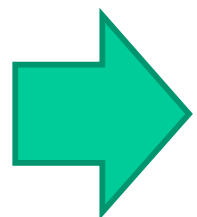
手厚い
資金面の支援

広い層への
市民啓発

示される
将来ビジョンと
活動の方向性

ボランティア
団体

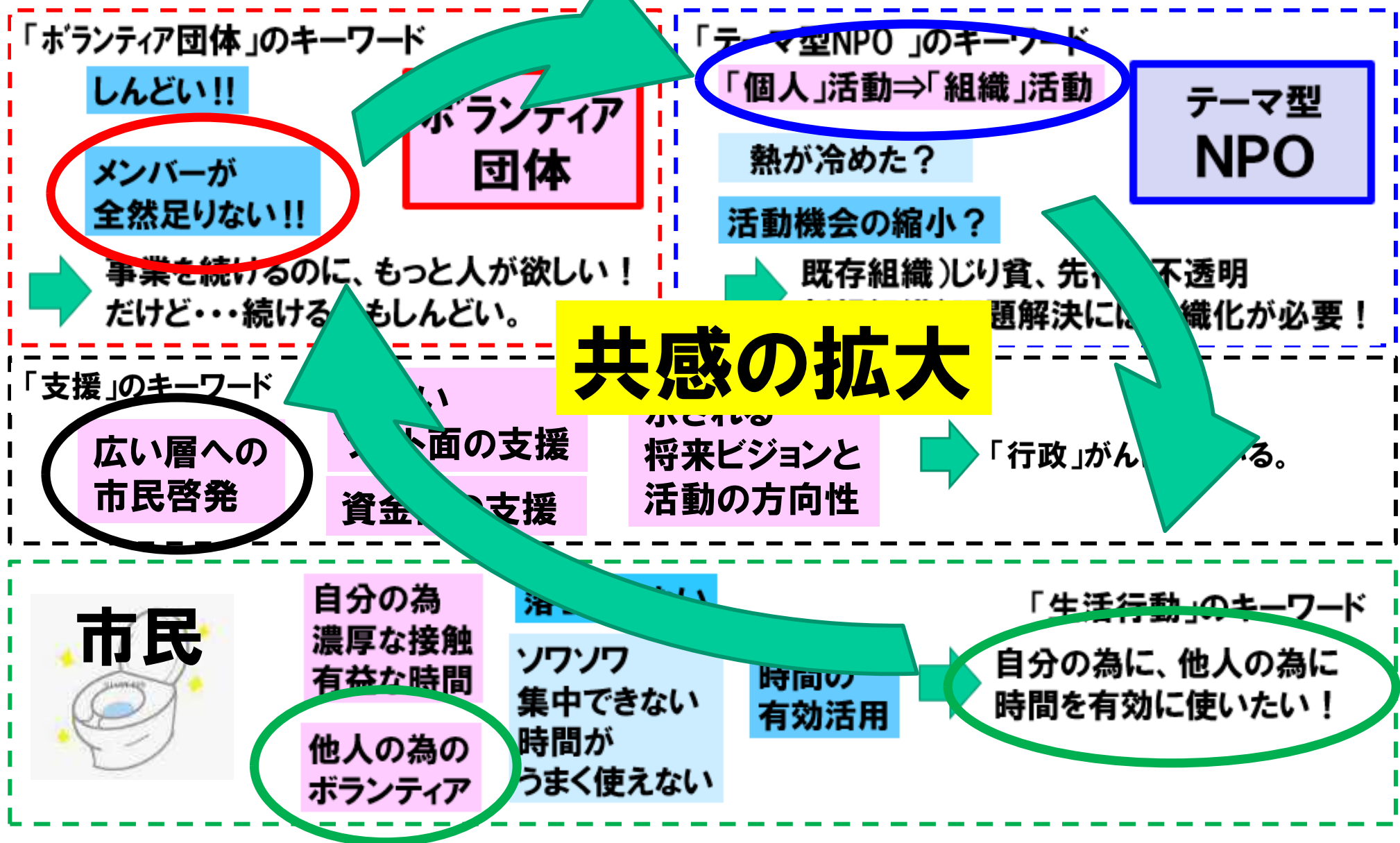
テーマ型
0



「行政」がんばっている。



8. 市民活動が次のステージへ向かう為には



8. 市民活動が次のステージへ向かう為には

必要な手立て

■市民活動団体

メンバーが全然足りない!!

1) 自身の活動の市民への積極的情報発信

リアル:対面 バーチャル:PR動画

2) 他団体との積極的な交流 同種・異種

刺激、活性化

共感の拡大

■市民x行政

1) 自ら「感じる・調べる」習慣/人間力の向上

Not AI検索 受け→攻め

2) 生身の市民活動団体の理解 & 参画

8. 市民活動が次のステージへ向かう為には

必要な手立て

■市民活動団体

メンバーが全然足りない!!

1)自身の活動の市民への積極的情報発信

市民活動の衰退防止・活性化には・・・
解消すべき問題がある

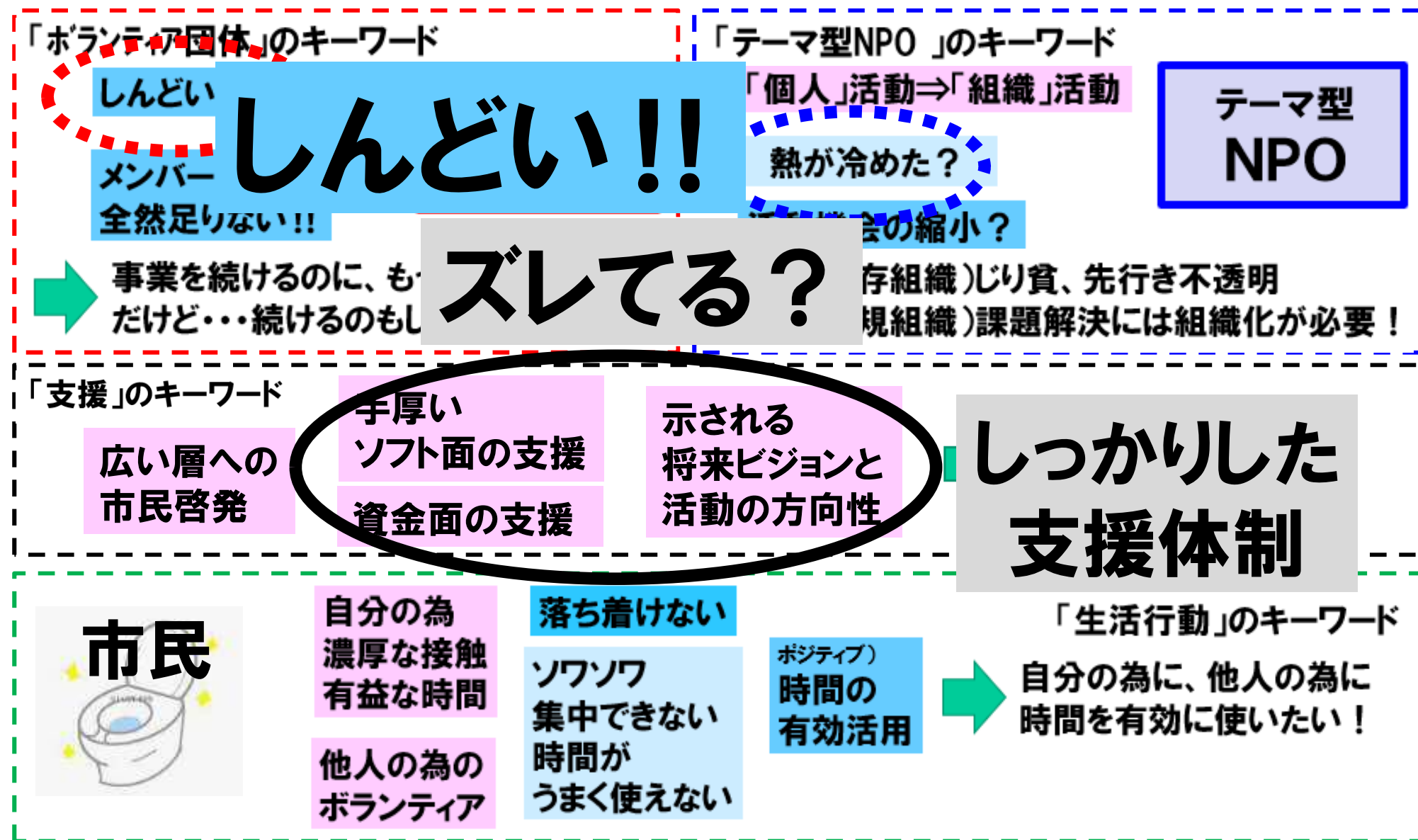
■市民x行政

1)自ら「感じる・調べる」習慣/人間力の向上

Not AI検索 受け→攻め

2)生身の市民活動団体の理解 & 参画

8. 市民活動が次のステージへ向かう為には



8. 市民活動が次のステージへ向かう為には

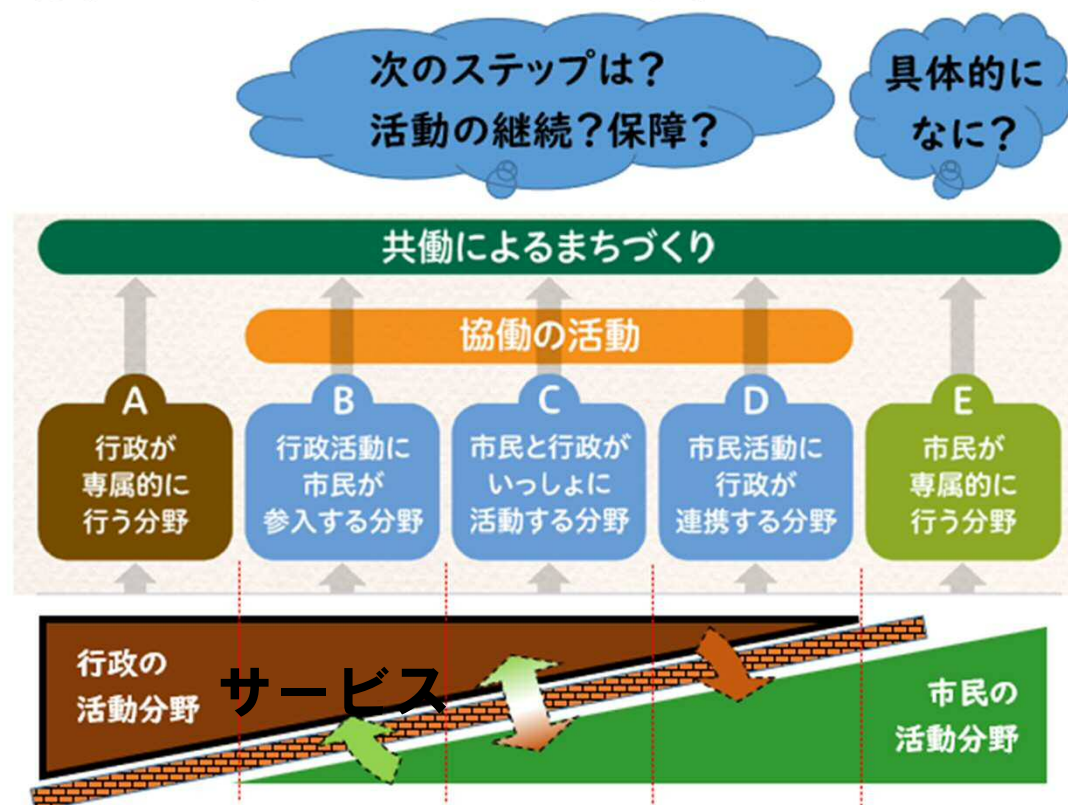
テーマ型
O

ホフア
団体

しんどい!!

市民活動団体から見たズレ・思いのすれ違い

将来ビジョン) スクラップ&ビルド(?)



その①
市民との役割分担
共働推進の評価が不明

その②
団体解消へ向けた
プロセスが不在

8. 市民活動が次のステージへ向かう為には

テーマ型

0

ホフア
団体

しんどい!!

市民活動団体から見たズレ・思いのすれ違い

その①市民との役割分担？共働推進の評価

具体的に
なに？

第8次豊田市総合計画
前期・成果

約1,725億円

/230事業

P83 共働 企業含む

27億円 (1.6%)

/5件 (2.2%)



≡不安定的な活動運転資金調達

8. 市民活動が次のステージへ向かう為には

テーマ型
0

ホフア
団体

しんどい!!

市民活動団体から見たズレ・思いのすれ違い
その①市民との役割分担？共働推進の評価



自主的活動 足りない？

テーマ型
NPO

ボランティア
団体

- ・地区統合型
スポーツクラブ育成
- ・施設の管理運営
- ・行政主催の
講座運営支援

(Eco-T)

- ・施設の管理運営
- ・外国人居場所

共働相手の種別	共働のかたち
地縁系団体	実行委員会
地縁系団体	その他支援
所管団体	審議会
所管団体	運営委員会
特定非営利活動法人(NPO法人)	補助金 指定管理
その他の市民活動団体	ボランティア・負担金
民間 所管団体 民間企業	行政講座修了者 (ヘルスサポーター) 共催 実行委員会 共催
特定非営利活動法人(NPO法人)	委託
市民ボランティア	市民参画
特定非営利活動法人(NPO法人)	委託

06) スポーツ振興

01) 福祉増進

07) 環境保全

11) 国際協力

「とよたの共働事例集」の発行にあたって

この事例集の目指すもの

1点目「できるだけ多様な事例を紹介すること」

2008年

平成20年3月発行

組織改編に伴い、問合せ先が変更になりました。

本誌に関するお問い合わせ先

豊田市 ~~社会部共働推進課~~ 生涯活躍部 市民活躍支援課

〒471-8501 愛知県豊田市西町3丁目の番地

TEL: 0565-34-6660 (直通) FAX: 0565-32-9779

E-mail: katsuyaku-shien@city.toyota.aichi.jp

TEL 0565-34-6660 (直通) FAX 0565-32-9779

E-mail katsuyaku-shien@city.toyota.aichi.jp

平成20年3月発行

8. 市民活動が次のステージへ向かう為には

テーマ型
0

ホフア
団体



しんどい!!

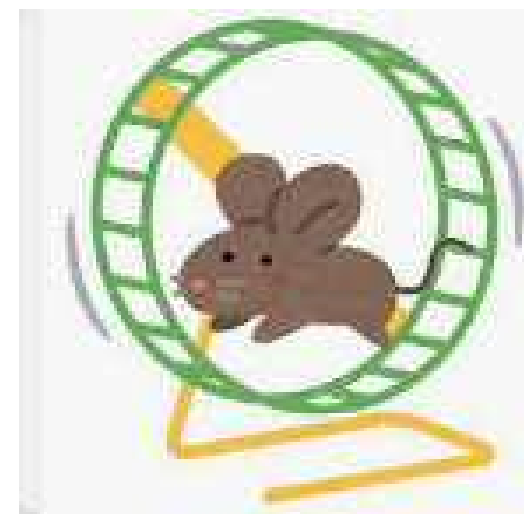
市民活動団体から見たズレ・思いのすれ違い
その②団体解消へ向けたプロセスが不在

ドーピング?

理想：普通に足りている状態

新規議場チャレンジ / 発展期
活動ステップアップ / 継続期
はじめの一步 / 立上期

活動の原点：足りない！



8. 市民活動が次のステージへ向かう為には

テーマ型
0

ホフア
団体

しんどい!!

提案「市民活動・共働に関する 第3者評価機関」の設立

キーワード

- 1)「公益」の定義
- 2)「市民」の役割とは？
- 3)「共働」の推進状況の評価

多様な目で評価し
公開・見える化する。

必要な4つの目（視点）

鳥の目 / 虫の目 / 魚の目 / コウモリの目

マクロ ミクロ 時代の流れ 逆の立場



最後に

**調査に協力頂いた「豊田市社会福祉協議会」
本報告に協力頂いた関係者の皆様**

ありがとうございました。

END

参考資料1)

活動時間/生活行動 ※行動の種類 20分類

- | | | | |
|----------|------------|----------|------------------|
| 1次
活動 | 01)睡眠 | 3次
活動 | 11)移動 ※通勤・通学を除く |
| | 02)身の回りの用事 | | 12)テレビ・ラジオ |
| | 03)食事 | | 13)休養・くつろぎ |
| 2次
活動 | 04)通勤・通学 | | 14)学習・自己啓発 ※学業以外 |
| | 05)仕事 | | 15)趣味・娯楽 |
| | 06)学業 | | 16)スポーツ |
| | 07)家事 | | 17)ボランティア活動 |
| | 08)介護・看病 | | 18)交際・つきあい |
| | 09)育児 | | 19)受診・療養 |
| | 10)買い物 | | 20)その他 |

参考資料2)

活動分野 ※NPO法20分類

- 01)保険・医療・福祉の増進
- 02)社会教育の推進
- 03)まちづくりの推進
- 04)観光の振興
- 05)農山漁村・中山間地域の振興
- 06)学術・文化・芸術
・スポーツの振興
- 07)環境の保全
- 08)災害救援
- 09)地域安全
- 10)人権の擁護・平和の推進

- 11)国際協力
- 12)男女共同参画
- 13)子どもの健全育成
- 14)情報化社会の発展
- 15)科学技術の振興
- 16)経済活動の活性化
- 17)職業能力・雇用機会
- 18)消費者の保護
- 19)NPO支援活動
- 20)条例で定める活動